

はじめに

2005年7月1日に大隅町，末吉町，財部町の3町が合併し誕生した曾於市は，霧島山麓の豊かな自然の恵みを受け，広大な大地と森林が育まれ，農林畜産業を中心に発展してきました。

2007年7月に「曾於市環境基本条例」を制定し，2010年3月に「曾於市環境基本計画」を策定しました。

この10年で環境を取り巻く情勢は大きく変化しています。地球温暖化対策の国際的枠組みである「パリ協定」の採択により，世界は脱炭素社会に向けて舵を切りました。海洋プラスチック問題では，2050年までに追加的な海洋汚染を無くす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を世界で共有し，2020年7月には日本全国でレジ袋が有料化されました。また，食品ロス問題も大きく取り上げられています。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は，社会・経済・環境などの問題を統合的に解決し，世界全体の持続可能な発展を目指す目標で，世界の多くの企業や行政機関がその目標の達成に向けて動き始めています。

曾於市内に目を向けますと，少子高齢化や人口減少などの問題は，田畑や森林の荒廃を招き，自然が持っている多面的で公共的な機能の低下につながるものが懸念されています。また，ごみの排出量の増加や不適正処理，ペットの適正飼養の問題など，住環境に関する問題もあります。

第2次曾於市環境基本計画では「人と豊かな自然が共生して みんなで創る環境にやさしいまち 曾於市」を環境に関する将来像として掲げ，前計画を踏襲しつつ，SDGsなど世界的な新しい考え方も取り入れて，10年後の曾於市の明るく住みよい環境のため，実効性のある施策を策定しました。市・市民・事業者みんなが共同して環境にやさしいまちを創っていきましょう。

最後に，第2次環境基本計画の策定にあたり，貴重なご意見を頂いた市民の皆様と熱心にご審議いただいた曾於市環境対策審議会の皆様，関係各位に対しまして心から感謝を申し上げます。



2021年3月

曾於市長 五位塚 剛